



# フォト・ルポ

## ◀ 消火に威力

10月6日、久津分団へ消防ポンプ自動車を配備。これから冬場に向かい、空気が乾燥しやすく、火災の発生しやすいシーズンを迎えます。「火事を出さないことが第一ですが、万一の火災の時、十分活用します」と引き渡したを受けた本永分団長は述べていた。

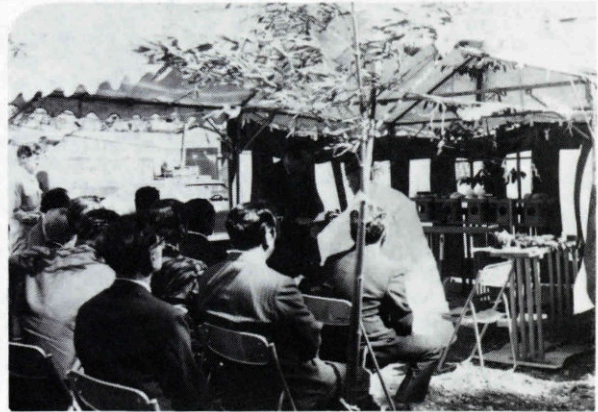
10月13日、中央公民館で、県交通対策課常藤課長補佐を講師に招いて老人クラブ交通安全教室が開かれた。これは、老人クラブ内の適任者を交通安全指導者として養成し、老人の各種会合等の機会を利用しての、自主的な交通安全教育活動を促進し、老人の事故防止を図ろうとするもの。当日は19のクラブから21人が出席し、2時間半にわたって熱心に研修をされた。

## ▼ 老人クラブ交通安全教室



宇津賀支所と宇津賀農協の併設建物、宇津賀集落センターの起工式が10月3日、現地で行われた。建物は総床面積766.6㎡の鉄筋2階建てで1階が支所と農協の事務室、2階が研修室、ホール、和室、調理実習室等で多目的に利用できる。工期は2月末日で、施行は三隅町の安藤建設(株)。

## ▼ 宇津賀集落センター起工式



幕末に、黒船が来航するようになると、海上防備の必要な所へ砲台が備え付けられました。これを台場と言います。有名なのは、男ならの唄を生んだ萩の女台場です。向津具半島には、黒岬(二尊院の下)・らんとう(向徳寺の西の海へ突き出たところ)・羅漢山(大浦)・泊(油谷島の泊)に台場があったことが、吉田松陰の嘉永二年の紀行、回浦紀略に書かれております。

今、原型をとどめているのは



## らんとう場 泊黒岬 台場跡

とろくろみき だいばあと

泊の台場だけです。何時・誰によって・どのようにして築かれたのか調べがたいです。

百四、五〇年前、この観音様の堂の破損がひどくなり、再建の見通しもつかないので、後藤家(東京在住)で百年位観音様のお守りをしてもらいました。



な なるたき  
鳴滝の観音様も世にいでて

油谷町の  
歴史いろいろはかるた

ところが、観音様がひどくいたんだので、福田孫兵衛さんが修理をされ、五〇年ばかり福田家でお守りをしてもらいました。このことを、以前から気にしておられた小島稔太さんが発起人となり、地元安佐の人・福田家・その他の方々の協力で、昭和四八年五月、鳴滝というところへ堂が再建され、観音様が安置されました。